

TTC ゆった〜り山行実施記録表 2016年11月28日 報告者: MY

山行名	京都紅葉狩ウォーキング(大原・一乗寺/東山・東福寺/三尾・嵯峨野・嵐山) [京都市]								
実施日	平成28年11月16日(水)~18日(金) 2泊3日 公共交通機関利用								
天候/参加人員	天候: 全日晴れ レベル: ★ 参加者: 申込7名/実施7名 (男2名/女5名)								
パートスタッフ	CL/計画:、SL:、会計:、救護:、写真: スタッフ名削除								
参加メンバ	参加者氏名削除								
費用 一人: 60,116円 (本厚木起点) カンパ金 740円	60,116円 (交通費¥20,796+宿泊費¥30,279+拝観料¥8,650+その他・カンパ金¥391) 交通費 JR 小田原-京都往復(ひかり座席指定/ｼﾞﾊﾞﾝｸﾞｸﾗﾌﾞ 30%割引:@16,760*7)¥117,320、京都観光 二日乗車券(@2,000*7)、JRﾊﾞｽ(四條大宮-栴尾:@520*7) ¥3,640 / 交通費小計(@19,280*7)¥134,960 各自負担交通費 : 本厚木-小田原往復:@453*2、JR 京都-東福寺:@140、JR 嵯峨嵐山-京都:@240、 京都ﾊﾞｽ(清滝-愛宕寺前)@230= 個人負担交通費@1,516 、 宿泊代 : アピカルイン京都(10畳和室2室/夕朝食付:@15,663) ¥109,640、三井ガーデンホテル京都四條(ツイン2・トリプル1/朝食付:@14,616)¥102,310、 宿泊費合計(@30,279*7) ¥211,950 、 拝観料 (三千院@700、寂光院@600、曼殊院@600、詩仙堂@500、銀閣寺@500、永観堂@900*、東福寺@400、清水寺@400、高山寺 500+特別拝観@800、西明寺@500、神護寺@600、愛宕念仏寺@300、化野念仏寺@500、常寂光寺@400、天竜寺@450*)@8,650*7= ¥60,550 、 通信費 ¥2,000/費用合計(除各自負担交通費)@58,781*7=¥409,460 、* : 観光乗車券付属割引券使用。 集金(@58,600*7) ¥410,200 - 費用 ¥409,460 = 残金 ¥740(カンパ金会計に繰入)								
所要時間	11/16(水) 大原三千院・寂光院・曼殊院・詩仙堂			11/17(木) 銀閣寺・真如堂・永観堂・南禅寺・東福寺・清水寺			11/18(金) 高山寺・神護寺・化野念仏寺・常寂光寺・天竜寺・渡月橋		
	歩行・見学・観光	乗物移動・食事等	行動(地下鉄京都駅⇒ホテル)	歩行・見学・観光	乗物移動・食事等	行動(ホテル⇒ホテル)	歩行・見学・観光	乗物移動・食事等	行動(ホテル⇒JR嵯峨嵐山)
ガイドブック	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計画	6:00	2:15	8:15	8:50	1:00	9:50	8:14	1:36	9:50
実行	5:47	1:28	7:15	7:33	3:07	10:40	7:20	1:50	9:10
実行コースタイム記録									
◆11/16(水) 天候:晴/気温 max15°C (行動時間 7:15 /歩行数~18,000歩)									
小田急線 ひかり 501 0:02 (京都観光乗車券)地下鉄烏丸線 京都ﾊﾞｽ⑨ 0:14 0:02(昼食湯葉定食)0:28 0:10 本厚木==小田原==JR 京都駅==地下鉄京都駅==国際会館駅==大原ﾊﾞｽ停==三千院==京美茶屋==寂光院== 5:42 6:32/7:04 9:14/9:18 9:20/ 9:30 9:50/10:10 10:37/10:45 10:59/11:50 11:52/12:30 12:58/13:50 京都ﾊﾞｽ⑨(乗換) 市ﾊﾞｽ⑤ 0:20 0:20 0:34 (夕食 18:30-20:30) 大原ﾊﾞｽ停==花園橋ﾊﾞｽ停==一乗寺清水町ﾊﾞｽ停==曼殊院==詩仙堂==アピカルイン京都(泊) 14:00/14:05 14:22/14:24 14:30 14:50/15:30 15:50/16:11 16:45 着									
◆11/17(木) 天候:晴/気温 max17°C (行動時間 10:40 /歩行数~32,500歩)									
朝食 7:00~ 0:10 市ﾊﾞｽ⑤ 0:16 哲学の道 0:15 0:23 0:05 市ﾊﾞｽ⑤ アピカルイン京都==修学院ﾊﾞｽ停==銀閣寺道ﾊﾞｽ停==銀閣寺==法然院==真如堂==白川通真如堂ﾊﾞｽ停== 8:05 8:15 8:25 8:41/8:57 9:12/9:27 9:50/10:08 10:13/10:19 0:09 0:10 0:05 (豆腐料理) 東西線 (乗換)烏丸線 JR 奈良線 0:12 永観堂入口ﾊﾞｽ停==永観堂==南禅寺==順正==地下鉄東西線東山駅==烏丸御池==京都駅==JR 東福寺駅== 10:23 10:32/11:30 11:40/12:20 12:25/13:30 13:56/14:05 14:10 14:19/14:37 14:40 0:18 市ﾊﾞｽ 207 0:20 0:10 0:18 0:03 市ﾊﾞｽ 46 0:16 一東福寺==東福寺ﾊﾞｽ停==五条坂ﾊﾞｽ停==清水寺==産寧坂分岐==八坂神社==祇園ﾊﾞｽ停==四條高倉ﾊﾞｽ停== 14:52/15:40 15:58 16:08 16:28/16:55 17:05 17:23/17:30 17:33 17:46 (夕食) 0:05 一まいどおおきに西洞院食堂==三井ガーデンホテル京都四條(泊) 18:00/18:40 18:45 着 CL と SL で、翌朝のﾊﾞｽ乗場「四條大宮」を下見 (往復~20分)									
◆11/18(金) 天候:晴/気温 max19°C (行動時間 9:10 /歩行数~28,000歩)									
朝食 6:30~ 0:12 JRﾊﾞｽ周山行 0:05 0:12 0:31 0:12 (清滝溪谷道 3.8km) 0:29 三井ガーデンホテル京都四條==四條大宮ﾊﾞｽ停==杣ノ尾ﾊﾞｽ停==高山寺==西明寺==神護寺==もみぢ屋別館== 7:30 7:42/8:02 9:00/9:07 9:12/9:45 9:57/10:17 10:48/11:13 11:23									

(早昼食) 0:22	0:13	0:07	京都バス(清滝ト札)	0:01	0:09	0:12 (ニンパ or ウド)
石橋左右岸広場—峠(月輪寺分岐)—清滝—清滝バス停==愛宕寺前バス停—おたぎ念仏寺—化野念仏寺—寿楽庵—						
11:52/12:13	12:35	12:48/12:53	13:00	13:05	13:06/13:26	13:35/13:56 14:08/14:34
0:05	0:12	0:06	0:10	0:05	0:05	0:20 JR 山陰線 (shopping)
—寂庵—二尊院—常寂光寺—嵯峨野竹林—天龍寺—渡月橋—JR 嵯峨嵐山駅==京都駅—伊勢丹—						
14:39/14:42	14:54	15:00/15:20	15:30	15:35/15:55	16:00/16:20	16:40/16:47 17:07
ひかり 532	小田急線					
新幹線京都駅==小田原駅==本厚木						
18:25/18:33	20:36/20:43	21:25 着				

コースの概要、特記事項、反省事項等

京都の紅葉名所を TTC メンパ と訪ね歩き、素晴らしい紅葉をじっくり愛でたいというシニアメンパからの要望を受け、比較的京都の地理に明るい私が立案と CL を引き受けることにした。TTC 主催として実施する以上、紅葉の名所を乗物で移動して観光するのではなく、紅葉の名所を歩いて巡ることを基本にした。京都市内の紅葉の最盛期は、例年 11 月下旬であるが、この時期の京都は、観光客で溢れて動きがとれないことから、大原や高雄等の郊外の紅葉の名所が、例年見頃を迎える 11/16(水)～11/18(金)の日程で実施することにした。とはいえ、地球温暖化が急速に進む昨今、昨秋のように、暖かい気温が一気に寒くなり、紅葉しないまま枯れ葉になってしまう年もあり、紅葉の見頃を 1 年前から自信をもって予測することは難しい。次に難しいのは、紅葉の最盛期に、立地条件の良い京都市内の宿を比較的手ごろな価格で確保することである。そこで、本年 2 月に Web site から、10 人分のホテル宿泊予約をしたが、この時期の京都市内の中級ホテルは、素泊一人 1 泊～18,000 円と飛び切り高価である。そこで、何とか格安のホテルを見つけようと、公共の宿と小田急トバルの 2 ルートで探した。その結果、1 泊目は旧 NTT 保養所の 7 階 カルイ京都 (1 泊 2 食付～¥16,000)、2 泊目は三井ガーデンホテル京都四条 (朝食付～¥15,000) を確保する事ができた。その他、京都までの新幹線乗車券・特急券は JR 東日本の「ゾパンゲクラブ」の 30% 割引、京都市内の交通は「京都観光二日乗車券」(¥2,000) を利用するなどにより、一人当たり費用を計画時の～8 万円から～6 万円に圧縮できる見通しを得て、実施する運びになった。

◆11/16(水)：メンパ 7 名が小田原駅に集合し、小田原停車朝一番のひかり 501 (小田原発 7:04) に 2 時間 10 分乗車して京都へ。京都地下鉄駅で、京都観光二日乗車券を購入し、この乗車カードを使って、地下鉄烏丸線終点の国際会館駅に向かう。駅前で大原行の京都バス⑨に 20 分待って乗車し、約 30 分で大原バス停に到着。市内の混雑を避けるため、地下鉄を利用したが、京都駅から大原まで 1 時間 20 分を要して、結果的に時間の節約にはならなかったが、小田原を出発して 3 時間半で大原に到着できた。

最初の訪問地は紅葉の最盛期を迎えた天台宗開祖最澄ゆかりの三千院。宸殿・客殿見学後、苔むして紅葉が美しい庭に出て、国宝阿彌陀三尊を祀る往生極楽院、金色不動堂、観音堂等、広大な境内を約 1 時間かけて見て回ったところで、そろそろランチタイム。三千院山門前「京美茶屋」で湯葉定食を美味しくいただいた。

次に 30 分歩いて訪ねた先は、594 年に聖徳太子が建立した尼寺の寂光院。壇ノ浦の戦いで、源氏に一人助け出された平家物語のヒロイン建礼門院徳子が 1185 年に出家して入寺し、余生を過ごした寺として名高い。山門前の紅葉並木、特に諸行無常の梵鐘前の深紅に染まった紅葉は見事の一語に尽きる。本尊の六万體地藏尊は、2000 年 5 月 9 日の放火で本堂とともに焼け落ちたが、体内に納められていた 3000 体以上の胎内仏は焼け残って、宝物殿に陳列されているのを鑑賞した。その後、本堂は再建され、新しく作られた極彩色の六万體地藏尊が祀られているのを間近から拝ませてもらった。

大原ののどかな里山の景色を楽しみながらのんびり歩きで、大分時間をとってしまった。叡山電車の車中から紅葉のト札を愛で、見頃を迎えた貴船の紅葉を楽しもうと考えていたが、その時間を確保することは困難と判断し、行き先を一乗寺界隈の曼殊院と詩仙堂に変更した。バスを乗り継いで、一乗寺清水町バス停から 20 分歩いて、紅葉の名所として名高い曼殊院(最澄創建の名刹)を訪ねた。門前の茶屋前の紅葉は鮮やかに色づいていたが、境内の紅葉の色着きはいまひとつで、見頃はあと少し先のような。美しい枯山水の庭園や狩野一派の筆になる多数の重要文化財の襖絵等を鑑賞して後にした。

本日最後に訪ねたのは、約 20 分歩いた先にある詩仙堂(曹洞宗総本山永平寺の末寺)で、小規模ながら、美しい庭園、とくに紅葉の時期がもっとも見事な景観に出会えるとの定評がある。なるほど、縁側から庭を眺めても、庭から建物を眺めても、燃えるような紅葉と緑鮮やかな松が見事に調和して惚れ惚れする美しさだ。

宮本武蔵と吉岡一門数十名が決闘をした場所として知られる一乗寺下り松(現在の松は 4 代目)を見学しながら、約 30 分歩いて、高野川畔に建つ 7 階 カルイ京都に早めのチェックイン。風呂に入って一休みした後、楽しみの一つにしていた京会席(和洋 12 品/¥7,500)を 2 時間かけて堪能。全員満腹・満足の夕食だった。本日の行動時間(地下鉄京都駅⇒7 階 カルイ京都)は 7 時間 15 分、歩行数は約 18,000 歩だった。

◆11/17(木)：本日は京都市内の東山界隈から東福寺の紅葉の名所を訪ね歩くプラン。まず、宿近くのバス停から路線バスで銀閣寺道バス停まで行き、疎水沿いの哲学の道を銀閣寺(東山慈照寺)に向かう。8:30AM の開園時間とほぼ同時に入場したので、観光客はまばらだったが、10 分も経たないうちに、観光客がどっとおし寄せ、

たちまち人であふれかえってしまい、昨日の大原とは大分様子が違う。国宝の銀閣は大分古ぼけた感じがしたが、波紋を表現した銀砂灘と白砂を富士山の形に盛り上げた向月台、そして、紅葉と松の緑のコントラストが見事に調和した庭園は昔と変わらぬ美しさを保っていた。園内の散策は、足利義満が茶の湯用の清水を汲んだという「お茶の井」までとし、山道を登った先にある「展望所」は割愛して次の訪問地に向かった。

哲学の道を辿り、鹿ヶ谷に静かに佇む法然院。山門を額縁に見立てて眺める紅葉の美しさが売りである。紅葉の最盛期には少し早いのか、紅葉の主体は黄色で、赤が少ない。観光客もまばらで、静かな散策が楽しめた。

次に訪ねたのは、彼岸桜と紅葉の名所として知られる真如堂。うなずき阿弥陀を本尊に祀る天台宗の古刹で、紅葉に映える三重塔は絶景と称され、鹿ヶ谷とは、白川を挟んだ西の高台に位置する。今回の東山界隈を巡るコースから少し外れるため、当初計画では訪問地先に入れていなかったが、前日の地元 TV ニュースで紅葉が見頃を迎えているとの情報を得て、急遽立寄り先に加えた。道を何度も尋ね、最後は長い坂を登り、25分を要してようやく辿り着いた真如堂境内は、真っ赤に色づいた紅葉に埋まり、シボルの三重塔のアクセントも見事の一語。京都紅葉狩 2 日目にして一番見応えのある紅葉に出会った。余りの紅葉の美しさにメンバー全員から感嘆の声が上がった。

裏口から急坂を下って、白河通りの真如堂バス停から南禅寺・永観堂道バス停まで路線バスを利用して、もみじの永観堂として名高い浄土宗禅林寺派総本山永観堂禅林寺を訪ねた。東山の山裾に位置する京都有数の紅葉の名所とあって、観覧料が 1000 円と飛び切り高くても、混み具合は相当なものだ。はじめに堂内見物。玄関に大きな荷物を無料で預けられる大型ロッカーがあり、結構重いザックを預けられたのはありがたい。貴重な文化財が多い寺社の室内を見物する際、ザックを背負っていると壁や障子、襖をはじめ、貴重な文化財に触って傷をつけはしないかと大変気を使う。阿弥陀堂には、この寺のご本尊である「みかえり阿弥陀」を間近に拝することができる。この阿弥陀仏はほんの少し首を左に傾け、顔を左に 90 度振り向いた姿で座っており、正面からは横顔だけで、右に回らなければ、尊顔を拝することが出来ない極めて珍しい阿弥陀仏。その他、長谷川等伯一門による屏風画等、鎌倉時代～桃山時代の多くの傑作や国宝を鑑賞し、建物の廊下から、庭園に広がる紅葉の景色を愛でながら回った。庭に出ると、放生池を中心に、紅・橙・黄に色づく 3000 本の紅葉が立ち並び、古今和歌集に「秋は紅葉の永観堂」と詠われたという紅葉に圧倒された。今回数多の紅葉の名所を訪ねたが、大半のメンバーの感想として、永観堂の紅葉の美しさに息をのみ、強烈な感動を覚えたという。

徒歩 10 分の位置にある南禅寺境内に入ったが、そろそろ昼飯時。どうせ昼飯を食べるなら、南禅寺山門前の湯豆腐の超有名店「順正」で食べようと思いがまとまり、店頭を訪ねると、40分～1時間待ちだという。入り込んでから南禅寺見学に向かった。南禅寺といえば、境内で釜ゆでにされたという石川五右衛門が「絶景かな、絶景かな」と言ったという山門とササノヅラの舞台として頻繁に登場する赤煉瓦造りの水道アーチ橋上部の水路の上流から下流まで見学してから、順正に戻り、豆腐会席を味わった。湯豆腐は湯を沸騰させてしまったら味が落ちてしまうと言われているが、なるほど、沸騰寸前の湯温にピリとめておく老舗の匠の技が確立されているようだ。たかが豆腐懐石なれど、美味しくいただき、満腹・満足して店を後にした。

腰痛の不安を抱える KS さんから、今日はこの辺で紅葉巡りを切り上げて、ホテルで休養したいとの申し出があった。予定以上に時間が押してしまったため、高台寺や清水寺を回ってからでは、4:00pm が見学のタイムリミットであるもう一つの紅葉の名所「東福寺」にはたどり着けないと判断。そこで、KS さんをホテル最寄り駅の地下鉄烏丸線四条駅に送り届け方々、先に東福寺を訪れることに急遽変更。京都駅で JR 奈良線に乗り継いで、東福寺駅で下車し、京都五山の第 4 位臨濟宗大本山東福寺に向かった。東福寺には、洗玉澗という溪谷を中心に 2000 本のカエデが植えられ、溪谷に架かる臥雲橋や通天橋から見下ろす紅葉の絶景が素晴らしいことから、毎年必ず京都紅葉人気スポットの上位にランクされている。我々は、臥雲橋を渡って入場し、赤や黄色の紅葉に染まる溪谷の紅葉林を散策し、対岸の重要文化財常楽庵開山堂の石庭を鑑賞後、東福寺一番のビューポイント通天橋の上から、眼下に広がる紅葉の海を見渡して、約 50 分の紅葉見物を終えた。東福寺には東福寺モジと呼ばれる黄色に色づき葉が三つ葉の独特のカエデ（ミツカエデ）があるそうだが、残念ながら見つけられなかった。また、この時期の東福寺は観光客で溢れ、特に人気の通天橋は人で溢れかえり、とうとう今年から、橋上に立ち止まっただけの写真撮影が禁止になってしまった。

このあと、隣接する江戸時代の天皇の御陵が並ぶ泉湧寺立寄りを割愛し、至近のバス停から市バスで東大路通を北上して五条坂で下車。観光客で大混雑の五条坂を登って清水寺に向かった。観光客の多くは、中国語を話す東洋人に加え白人の観光客も多い。一目で貸衣装と分かる和服姿のお嬢さん達も大半は中国語か韓国語で会話している。また、修学旅行中の中学生や高校生の姿も多く見られた。清水寺の仁王門に辿り着いたのは、少し薄暗くなり始めた 4:30pm 頃。この時期、暗くなってもライトアップして、9:00pm まで参観できる。長い間、工事前の幕で覆われて補修工事中だった経堂や舞台下の木組みも、幕が取り払われて、紅葉に彩られたいつも通りの清水寺の景観に戻っていた。本堂から清水の舞台、釈迦堂、阿弥陀堂、奥の院、音羽の滝とお決まりのコースを一回りした。特に阿弥陀堂から、真っ赤に染まる楓越しに眺める清水寺の本堂と舞台の景色はいつ見ても絵になる景観だ。50 数年ぶりの再訪というメンバーもおり、人並みにもまれながらの観光だったが、立ち寄って良かった。日が暮れて明かりが灯った産寧坂から二年坂を下り、八坂の塔を左に見て八坂神社を参拝。途中、観光コースに入っていた、ライトアップされた紅葉が人気の高台寺の参観は、山門を確認したのみでスルー。

ホテルに戻りがてら、余力が残っていれば、祇園、白川通、先斗町、木屋町、錦市場等の河原町界隈の繁華街を散策できればと考えていたが、この時点で、すでに歩数は3万歩超。これ以上歩きたくないというムバもいたので、市バスの車窓から四条通りの観光を済ませ、ホテル近くの全国展開チェーン方式の和食処“まいどおおきに『西洞院食堂』”で思い思いのメニューで夕食を済ませ、三井ガーデンホテル京都四条に6:45pmにチェックイン。大浴場で汗を流し、早々に眠りについた。この日の行動時間は10時間40分、歩行数は32,500歩だった。

◆11/18(金)： 梶尾行のJRバスに、30分を要して京都駅まで行き、始発から乗るか、それとも、ホテルから徒歩10分の距離にある「四条大宮」バス停で途中乗車するか、判断に迷い、ホテルのフロントにこの時期の当該バスの混雑状況について相談したところ、座席に座れなくても良ければ、乗車可能との回答を得たので、思い切って四条大宮乗車を決断し、前夜のうちに、CLとSLで、四条大宮のバス停の位置とバスの発車時刻を確認してきた。

ホテル隣のコンビニで各自お昼用のオギリを仕入れ、四条大宮のバス停で8:02発の周山行JRバスを待った。到着したバスは満員で、出来れば後続の臨時バスに乗って欲しいと運転手に言われたが、何分後か聞いたところ、20分後との回答だったので、我々全員このバスに乗せてもらった。夕方上40分のところ、市内の混雑で1時間を要して、梶尾バス停にようやく到着。その代わり、この間ほとんど立ちこん坊だった。

梶尾山高山寺は国宝鳥獣人物戯画4巻、日本最古の茶園があり、鎌倉時代を中心とする12000点に及ぶ国宝・重要文化財を所有する古刹として知る人ぞ知る世界文化遺産の寺だが、大方の観光客は高雄神護寺止まりで、ここまで足を延ばす観光客は希である。TTCパーティ7名は、特別開観中の国宝石水院(鎌倉時代に建築された学問所)の内部を見学し、教科書でしか見たことのない鳥獣人物戯画を鑑賞したあと、山中に鬱蒼と茂る老杉・老松・老楓の中に点在する開山堂や金堂等を訪ね歩いた。次に訪れたのは824年創建の古刹梶尾山西明寺。高雄山神護寺を合わせた三尾の寺の中で、一番小規模の寺だが、境内の紅葉が美しく、本堂内に多数の仏像が安置されており、本尊の運慶作釈迦如来像(重文)や脇陣の千手観世音菩薩(平安時代作/重文)、愛染明王像(鎌倉時代作)が、~30cmの至近距離から拝むことができる。客殿の赤絨毯が敷かれた廊下に座って、境内の紅葉をのんびり観賞できたのが、なによりよかった。

次の訪問は高雄神護寺。唐から帰国した空海と最澄がこの寺で、809年から14年間修業したという、名刹中の名刹で、京都有数の紅葉の名所。平安時代に2度災害で焼失。1184年に再建された伽藍も応仁の乱で再び灰燼に帰し、1623年に一部再建。昭和10年にやっと再建され金堂は、昭和の名建築の誉れが高い。清滝川沿いに下り、つづら折りの参道に続いて、100数十段の石段を登った先の楼門まで約30分の結構厳しい登りを凌いでやっと到着した。紅葉の一番の見処、金堂に上がる階段両側のまだ緑が残るモジ越しに眺める景観は、伽藍の大屋根に映えて見応えがあった。有名な地藏院からのかわけ投げは割愛し、楼門先から紅葉の作業道を東海自然歩道の清滝溪谷道のスタート地点となるもみぢ屋別館に降り立った。岩場をへつところが数力所あるものの、溪谷沿いの歩道はよく整備されて歩きやすく、人影もまばらで、北山杉の美林や紅葉に染まる溪谷の景色が素晴らしい。途中の休憩卓で今朝仕入れたオギリで早朝食を済ませ、3.8km先の清滝まで約1.5時間の静かなハイキングを楽しんだ。

清滝から次の訪問地嵯峨野に出るには、尾根越えするか、長さ約500mの狭い清滝トンネルを潜るしかない。相互一方通行の狭いトンネル内では、車とすれ違う毎に、身体を煤だらけのトンネル壁に身を寄せて車をかきさなければならぬ。如何にしたものか判断しかねていると、清滝が始発で、トンネルを潜って京都駅行の京都バスが発車態勢にあるのを見つけて思わず飛び乗り、トンネル先の愛宕(おたぎ)念仏出寺前まで、乗せてもらった。立寄った愛宕念仏寺の起源は約1400年前と古いが、その後幾多の変遷を経て、最近まで廃寺であったが、昭和30年に復興事業が開始され、現在では、まだ真新しい約1200体の表情豊かな羅漢の石像が並び、我々を優しく出迎えてくれた。次に訪ねた寺は、1200年前創建の化野念仏寺。境内の西院の河原には、風化の激しい石塔や石仏8000体が並ぶ。美しい紅葉の景色の中に並ぶ無縁仏は極楽浄土を具現するものとして信仰を集めているそうだが、一種独特の異様さを感じる。ゴールの嵐山に向かって嵯峨野を歩いていると、小腹が空いたので休憩を兼ねてうどんかそばをと言うことになって飛び込んだ寿楽庵。京都名物のコシツバカシコシウドンを美味しくいただいた。知らないで店に飛び込んだが、ここは瀬戸内寂聴さんの旧宅とのこと。現在は裏手にご自宅と説教道場の寂庵があると教えてもらい、寿楽庵を出てから立ち寄って、門の外から寂聴さんの自宅を見学させてもらった。

この時点で、時刻はすでに2:40pm。見学予定だった祇王寺と二尊院をカットし、嵯峨野随一の紅葉の名所常寂光寺に向かう。紅葉のトンネルの坂を登って境内に入ると、一面が赤、橙、黄色に染め上がり、境内から見下ろす京都の町並みとその先に聳える比叡山の姿が美しい。多くの人波で通行もままならない嵯峨野の竹林を抜け、嵐山の紅葉の名所臨濟宗大本山天龍寺の庭園を散策。大方丈の縁側に腰掛け、池と石組みと松のコンビネーションが美しい宗源池庭園をしばし鑑賞してから、紅葉に染まる正門参道を抜けて、最後の観光地渡月橋に向かった。昨日の清水寺参道並みの人混みの中を渡月橋を渡って、対岸の中の島公園まで往復。渡月橋の上から嵐山の山肌の色づきは、曇り空で暗くなり始めた時刻でもあり、いまひとつ物足りないものがあった。

JR嵯峨嵐山駅に4:40pmにゴール。本日の行動時間は9:10、歩行数は28,000歩だった。JR山陰線で京都駅に急ぎ、駅ビル内の伊勢丹でオギリの品々と夕食を各自仕入れ、京都6:33pm発のひかり532に乗車して帰途についた。全日天候に恵まれ、京都の名だたる紅葉名所を巡って、紅葉の絶景を愛で、心に深く残る旅になった。